

事後評価審議対象事業一覧表（内川・土居川水環境改善事業）

（別表2）

事業種別	事業名	事業内容及び事業コスト	市民のニーズ	事業効果の発現状況		自然環境等への影響と対策	市の評価	評価
				定量的評価	定性的評価			
河川事業	内川・土居川水環境改善事業～土居川海水導水事業～	<p>○事業内容 出島漁港からの海水導水 導水量 12,000m³/日 導水延長 L=約1.7キロメートル</p> <p>○事業コスト 【計画時の想定】 事業費 412百万円 維持管理費 7百万円/年 オーバーホール・交換(50年) 165.0百万円</p> <p>【実績】 事業費 307.78百万円 維持管理費 8.29百万円/年 オーバーホール・交換等(50年) 165.0百万円</p> <p>点検・オイル交換 1回/2年 69.3万円(H25)(H23のみ86.0万円) オーバーホール 1回/6年 11.0百万円(H27) ポンプ交換 1回/24年 44.0百万円(今後の予定)</p>	<p>内川・土居川では、河川水の白濁化や悪臭の発生が顕著であり、その対策が市民からのニーズとして挙げられていた。 白濁化や悪臭の発生原因となる河川水、特に底層の河川水における貧酸素化（溶存酸素不足）を解消することが、求められていた。</p>	<p>○費用便益比 【計画時の想定】 B/C=3.0</p> <p>総便益 B=2,700百万円 総費用 C=900百万円</p> <p>【実績】 B/C=7.72</p> <p>総便益 B=5,439.67百万円 総費用 C=705.02百万円</p> <p>○土居川の最上流部において、夏季の下層での、溶存酸素不足(2mg/L未満)の発生率が、事業前は60%超であったものが10%超へと事業後に大幅に減少した。</p> <p>○白濁化等の発生率、臭気発生率が減少した。</p>	<p>○生態系 確認された生息魚類種数が増加した。 ※希少種のニホンウナギ、底生性のマハゼなどを確認</p> <p>○アンケート調査結果(2015年実施) 堺区内で実施したアンケート調査において、事業について「効果がある」とする世帯の割合は72.1%であった。また効果があった世帯において、具体的な効果として、多く挙げられたのは以下のとおりである。 「臭いが少なくなった」 「魚などの生き物が棲むようになった」 「水質が良くなった」</p>	<p>土居川は、潮汐による干満によって河川水が交換されている河川であり、そこに海水を導水することでの、動植物への影響は特にない。 また、海域からの植物プランクトンの遡上及び死滅沈降によるヘドロの堆積に対して、海水導水により底層に酸素を供給することで、底泥微生物が活性化し有機物の分解が促進され、水質改善に効果がある。</p>	<p>[今後の事後評価] 不要</p> <p>[改善措置] 不要</p> <p>[評価] 河川水中の溶存酸素不足が改善され、河川水の白濁化や悪臭の発生が抑制されている。 生物の生息環境も改善され、確認種数が増加した。 アンケート結果から、効果があるとする世帯は多く、市民の視点からも効果が認められる。 よって本事業の事業効果は十分に発現されているものと考えられる。 今後も内川・土居川の水環境改善のため、本事業を継続することにより、生物の生育環境も改善され、河川空間の快適性を向上させる。</p>	<p>[今後の事後評価] 要・不要</p> <p>[改善措置] 要・不要</p>